

学校行事への生徒主体的関与が学習行動に与える影響

— 高校特進コース1年生の実践事例 —

常翔学園中学校・高等学校

西村 春香

実践年度

2025年

実践背景

特進コースでは、入学時の学力差が小さいにもかかわらず、クラス間で成績の伸びに差が生じている。生徒への聞き取りから、「勉強しなさい」といった直接的な学習指示は、必ずしも学習意欲の向上につながらず、むしろ意欲低下を招く場合があることが分かった。

一方で、体育祭や球技大会などの行事においては、生徒が高いモチベーションをもって主体的に取り組む姿が多く見られた。そこで、**行事への主体的な関与が、学習への意識や行動に影響を与える可能性があるのではないかと考え、本実践を行った。**

【仮説】

- ・教員からの直接的な学習指示よりも、生徒が主体的に取り組める活動への関与が、学習への意識に影響有？
- ・行事へのモチベーションと、学習への意識との関連有？

調査②

1. 成績の変化

- ・模試では、行事へのモチベーションと成績推移との間に明確な関連は確認されなかった
- ・定期テストでは、体育祭前後において7組の成績の伸びが相対的に大きかった

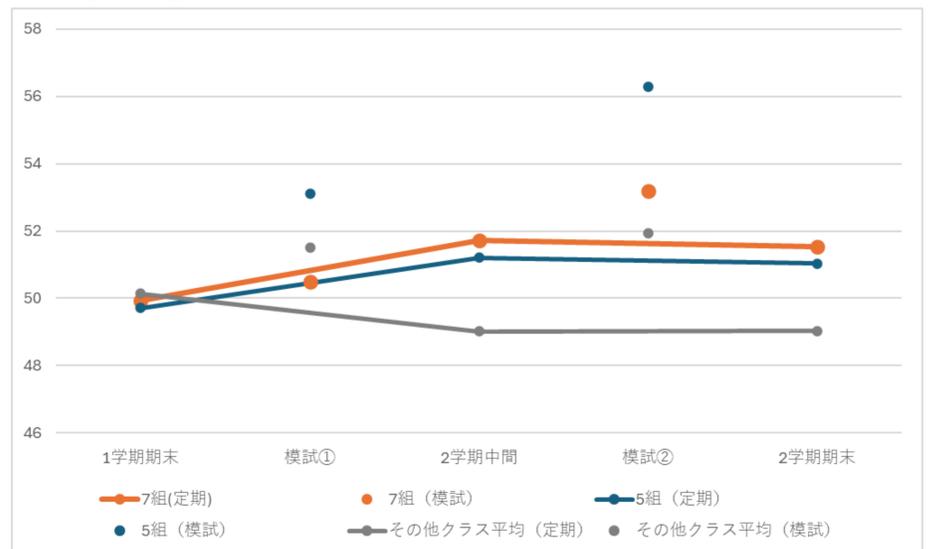


図2 学校行事期における7組と他クラスの成績推移の比較

実践方法

- ◆対象：高校特進コース1年7組(40名)
※同じコースの4クラス(5組,6組,8組,9組)と比較

- ◆期間：2025年9月～(継続中)

◆内容

- ・体育祭・球技大会に向けて、生徒主体の取り組みを尊重
- ・球技大会前には、朝終礼で継続的に行事への声かけを実施
- ・行事に対するモチベーション調査を実施
- ・定期テストおよび進研模試の成績変化を比較・検討

調査①

1. 体育祭での各クラスの比較

- ・5組：担任教員主導で朝練を実施
- ・7組：生徒主体で練習を実施
- ・体育祭では、7組は大縄競技で学校全体で1位となるなど好成績をおさめた
- ・体育祭後のモチベーション調査では、7組が最も高い数値を示した

2. 球技大会での自クラスの実践

- ・7組では、球技大会前に朝終礼で生徒に意識づけを行った
- ・男女ともに準優勝という結果をおさめた
- ・事前のモチベーション調査において、7組は最も高い数値を示していた

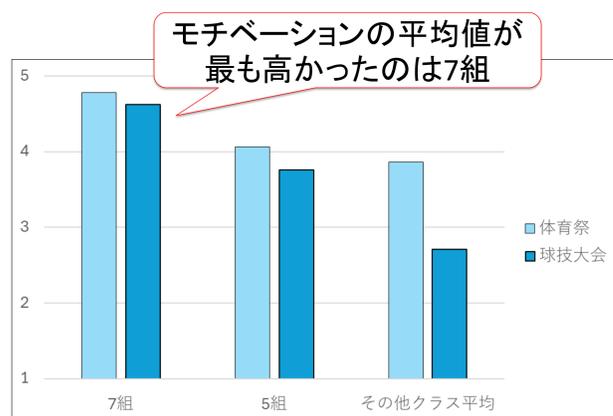


図1 学校行事に対するクラス別モチベーションの比較
※1(低)～5(高)の5件法質問のクラス平均値

考察と課題

◆考察◆

- ・行事への主体的な関与と、短期的な学習への意識や行動の間には、一定の関連がある可能性が示唆された
- ・生徒が主体的に体育祭に向けて活動していた時期においては、定期テスト成績の伸びが相対的に大きい傾向が見られた
→行事への関わり方の違いが学習面と関連する可能性有？
- ・模試成績に代表される長期的な学力向上については、学習習慣や家庭環境など、行事以外の要因が大きく影響している？

◆今後の課題◆

- ・モチベーション調査が生徒の自己評価に基づくものである点や、行事以外の要因(担任の関わり方、学習環境等)を十分に統制できていない点などの課題有
- ・より客観的な指標を用いた調査や、複数年度・複数学年での継続的な検証を行うことで、行事への関わり方と学習面との関連について、より多面的に検討していく必要有

<次なる仮説>

- ・行事における内発的動機づけを強化したうえで、学習面において次のステップとして内容分離動機でも強化していく働きかけが学力の向上にはつながるのではないかと